

茶売公園愛護会

☆茶売公園清掃 (4-11月第2日曜 八幡西区 茶売町)

茶売公園の公園愛護会の方々が実施している公園の除草を中心とした清掃活動に青少年ボランティアが参加しています。地域の方に効率的な雑草の抜き方や道具の使い方を教えてもらったりして、とても良い経験になっています。



○ 公園を使う子どもたちのことを考えながら活動していたら、いつのまにか終わっていたから、時間の流れが早かったと感じた。何か人のために役に立つことをするとき、その人たちのことを考えながらすれば良いのだと分かったので今後もそうしていきたいと思う。色々な人と協力して活動したりしたので、良い経験だったと感じた。今後もボランティア活動に参加していきたいと思う。 【小倉高校 1年】

○ 今回の活動に参加するまでは「公園はいつも子どもが遊びやすい状態だ」という思い込みがあった気がします。しかし、今回の活動で仲間たちと共に2時間余り作業して、当たり前がいかにもありがたいものか、身にしみて感じました。今後も、誰かがつくってくれた「当たり前」感謝します。 【小倉高校 1年】

○ 枯葉を集めるだけでこんなにも体力を使うのかと驚きました。たくさんの体力を使ったからこそ、達成感がすごくあり地域活動に貢献したという実感があったので、また機会があれば是非参加したいと思います。 【星琳高校 1年】

○ 何かの作業をするとき、効率的な方法を探すことの大切さを感じた。道具や周りの状況を見て、人と協力して清掃をやりとげた時の達成感を学び、この感覚を今後活かして物事に取り組んでいきたいと思った。 【門司学園高校 2年】

○ 茶売公園には、行ったことがなく今日が初めてだったが、自分が見た限りお菓子などのゴミもなくきれいで、私が今まで利用していた公園もボランティアや愛護会の方々の活動のおかげできれいなまま利用できていたのかなと考えるきっかけとなり、これからの公園の利用の仕方などを考え直すことができた。私はまず公園の愛護会の存在も知らなかったの、今回の活動で知ることができて良かった。また、愛護会の高齢化が問題となっていることも知り、このボランティアに参加することで会員の方々のお手伝いのできるのなら今後も募集を見つけたら積極的に参加したいと思った。 【北筑高校 2年】

○ 初めて参加する場で、自分の仕事を見つけて取り組むことに少し不安がありましたが、地域の方々と一緒に参加していた方々の丁寧な説明や声掛け、気遣いのおかげで安心して、しっかりと自分がやるべきことを見つけて、一生懸命活動できました。今回の活動で、メリハリの大切さを学びました。活動の前後や途中の休憩で仲間と深くコミュニケーションを取ることで、より内容の濃い活動に集中できたことを今後活かしていきたいと思っています。 【小倉東高校 2年】



ボルクバレット北九州



☆ホームゲームの運営補助 (八幡東区 北九州市立総合体育館, 小倉北区 メディアドーム)

九州で2チーム目のプロフットサルチームとなったボルクバレット北九州は、2020年からFリーグディビジョン1で戦っています。ボルクバレット北九州のホームゲームにおいて、運営サポートや応援ボランティアとして熱い声援を送りました。

○ イベント1つを行うのに、こんなにもたくさんの人が関わっていることを自分の目で直接見て実感しました。イベントに関わる仕事は当日だけではなく、前日までの準備や後片付けなどもあり、とても大変だなと思いました。今日、私は館内の見回りと案内をイベントの最中にやりました。学校の外だと笑顔で「こんにちは」と言うのも緊張しましたが、私は一人の高校1年生としてではなく「イベントスタッフ」の一人として、この活動に参加したので、いつもより大きな声で、いつもより笑顔で挨拶するように心掛けました。その私の声に笑顔で挨拶を返してくださったお客さんがたくさんいて、うれしかったので、今後、私も挨拶されたら、今日会った方々と同じように笑顔で応えたいと思いました。

【クラーク記念国際高校 1年】



○ 今回のボランティア活動で再入場の受付をさせてもらったのですが、皆さん笑顔でチケットを出して対応してくださったり話しかけてくれたりと、とても楽しく活動することができました。相手が笑顔で接してくださった時、こちらも自然と笑顔になったので、そのことを忘れず、自分がまた受付など人と人が接するものになった時に活かしていきたいと思っています。最後の片付けの際、選手の方やスタッフの皆さんが優しく話してくださり手伝ってくれてとても助かったし、きさくに話しかけてくださったので、きつくても最後まで笑顔で楽しかったです。今日、ボルクバレット北九州ホームゲームのボランティアに参加して、くいなく楽しく責務を全うできたので良かったなと思いました。 【ひびき高校 1年】



○ 今回初めてボルクバレット北九州の試合にボランティアさせていただきました。ボルクバレット北九州の試合の観戦に行ったことは数回ありました。今回裏方として試合の運営に携わることで、普段できない貴重な体験をすることができました。特に、試合の中には目に見えないところで多くの人に関わっていることに気づき、行事やイベントの裏方の重要性を理解した。また、機会があれば北九州に地域貢献したい。 【小倉南高校 2年】

○ 今回初めて受付を担当して大変だった。はやく名前を探して、チェックして券を渡す。この一連の動作も焦ってしまった。しかし、徐々に慣れてきて子どもと話す余裕ができた。そして、私は人と話すことが好きだと気付いた。私が担当したのは、招待客の方々だったため、自然と責任感が生まれた。私は人と話す時は、気配り、目配り、心配りを意識して接したいと思った。今回のボランティアは、本当に有意義な時間だった。 【北九州高校 2年】

